

# 令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

活動テーマ 「砂場遊び」

園名：戸山第二保育園

東京都新宿区戸山2丁目18番101号

## テーマ設定理由

自然豊かで広々とした園庭と、広い砂場が2か所あるという当園の環境を活かしたい。砂は子どもたちが日常的に触れる身近な素材であり、園庭に出るとまず砂場に向かい、ままごとや型抜きで遊ぶ姿が見られている。その中で砂の感触や形の変化に興味を持っている姿が見られることから砂によって生じる様々な現象や特性について、子ども達の興味関心をさらに深めていきたい。



## 活動スケジュール

- 令和7年5月23日：砂場遊びのスキル獲得  
(ワークショップ・・・サンドアートスキル)
- 令和7年10月10日：砂場における子どもの発達と保育  
保育の振り返り
- 令和8年2月4日：砂場保育の振り返りと今後の課題

## 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子どもの発達や活動内容に合わせて、砂場玩具を検討。ダイナミックな遊びに取り組めるよう、大型の土台砂型セット、シャベル、クマデ、スコップ、容器などを揃えた。

2か所の砂場に幼児、乳児が遊びやすいように分けたり、整理しやすいようにカゴにラベルを貼り、全園児が取り扱いやすいように設定した。また、遊びが砂場から外へと発展し遊べるように、テーブル、タライなども用意した。

## 探究活動の実践 活動の内容

### 砂場で遊ぼう

- ・大型の土台砂型セットやスコップなどを使って、保育者が城を作る。
- ・保育者が作ったものに興味をもち、子どもたちも遊び始める。
- ・道具の使い方や作り方が分かり、失敗も経験しながら、水や砂の量など工夫して作る。
- ・試行錯誤しながらコツを掴み、子ども同士で相談しながら城が作れるようになる。
- ・子どもたちから「やりたい」という声が出るようになり、保育者が玩具を準備すると子どもたちだけで作り始めるようになる。

## 活動中の子供の声、子供同士や 保育者との関わり

- ・2歳児が保育者と1対1で砂場遊びをしている時に近くで見ていた1歳児が型抜きに興味を示して指さしてきたので保育者が型抜きを手のひらに乗せると崩して楽しんでいました。
- ・初めは、城がすぐに崩れることがあり、原因を一緒に考えたり、水の量を増やすことを提案したりしていました。
- ・城が完成すると、周りに山や川、トンネルなどを作り始め、友達とイメージを広げてダイナミックに遊んでいた。

## 振り返り 振り返りによって得た先生の気づき

- ・砂場の外にいた子が砂場で遊んでいる様子に興味を示して自分から近づいていく。まさに「砂を使わない砂場遊び」に始まって、砂に触れ、異年齢との交流にも発展した。
- ・保育者がすべてをやってあげるのではなく、子どもが考えてどう工夫するかを大切にしていきたい。また、繰り返し試行錯誤するなかで、子ども同士で協力したり、諦めずに挑戦したりする姿が見られた。



# 令和7年度とうきょうすくわくプログラム（戸山第二保育園）

